

水痘感染対策に関するお願い（入院）

入院後の水痘（みずぼうそう）の発症は、院内での感染拡大や重症化につながります。

つきましては、院内感染防止のため、入院を予定されている皆様に、次のとおりご協力いただきたくお願い申し上げます。

（１）水痘ワクチンの２回接種

水痘にかかったことがない２歳以上の予定入院患者さんについては、入院１週間前まで（やむを得ない事情のある場合は２日前まで）に、**水痘ワクチンを２回接種**することを義務化いたします。

※ 手術の方は入院２週間前までに接種してください。

なお、水痘にかかったことがある方は、罹患歴を母子手帳で確認します。母子手帳での確認ができない場合は、入院前に抗体価検査の採血を行います。

- ① **２回接種が済んでいない方は、予定入院の延期や入院中の行動制限が生じる（共用プレイルーム使用不可など）場合があります。**
なお、緊急入院や延期できない手術はこの限りではありません。
- ② 水痘は、１回ワクチン接種をしてもかかることがあります。
ワクチンの効果を確実にするために、現在は２回接種が推奨されています。
２回目の接種は、１回目の接種から３か月経過後に可能です。
- ③ 他のワクチンと同時接種も可能です。かかりつけ医にご相談ください。
- ④ ２回接種により、後の帯状疱疹の発生頻度を低下させる効果も期待できます。

（２）感染症状と接触・流行状況の確認

「入院時感染チェック表」に該当する項目がある場合は、入院前に当院にご連絡をお願いいたします。

※ ２歳未満のお子さんも、接触歴や流行状況により予定入院の延期や入院中の行動制限が生じる場合があります。１歳以上～２歳未満のお子さんにも、入院前に水痘ワクチンを接種することを強く推奨いたします。